

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【公開番号】特開 2001-106008 (P2001-106008A)

【公開日】平成 13 年 4 月 17 日 (2001.4.17)

【出願番号】特願 平 11-287031

【国際特許分類】

B 6 0 R 21/18 (2006.01)

B 6 0 R 21/233 (2006.01)

B 6 0 R 21/26 (2006.01)

B 6 0 R 21/276 (2006.01)

B 6 0 R 22/14 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 21/18

B 6 0 R 21/24

B 6 0 R 21/26

B 6 0 R 21/28

B 6 0 R 22/14

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 6 日 (2005.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】 エアバッグ及び該エアバッグ内にガスを供給して膨張させるエアバッグ用ガス発生器を有し、車両の乗員前方に設置されるエアバッグ装置と、

膨張部及び該膨張部内にガスを供給して膨張させるエアベルト用ガス発生器を有したエアベルト装置と、

車両の衝突に対応して該エアバッグ用ガス発生器及びエアベルト用ガス発生器を制御する制御装置とを備えた乗員保護装置において、

前記エアベルト用ガス発生器はガス発生量を調節可能なものであり、前記制御装置は、衝突規模の増大に対応して該エアベルト用ガス発生器のガス発生量を増大させるように制御することをことを特徴とする乗員保護装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

本発明の乗員保護装置は、エアバッグ及び該エアバッグ内にガスを供給して膨張させるエアバッグ用ガス発生器を有し、車両の乗員前方に設置されるエアバッグ装置と、膨張部及び該膨張部内にガスを供給して膨張させるエアベルト用ガス発生器を有したエアベルト装置と、車両の衝突に対応して該エアバッグ用ガス発生器及びエアベルト用ガス発生器を制御する制御装置とを備えた乗員保護装置において、前記エアベルト用ガス発生器はガス発生量を調節可能なものであり、前記制御装置は、衝突規模の増大に対応して該エアベルト用ガス発生器のガス発生量を増大させるように制御することをことを特徴とするもので

ある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

Ⅰ．作動例 1（体重に依拠しない制御例）

（１）車両の衝撃に伴ってその規模が衝撃規模検知システム 40 によって検知される。

衝撃規模が極めて小さいときには、図 1（１）の通り、インフレーター 21，22，31，32 のいずれも作動せず、エアバッグ 16 及び エアベルト 2 のいずれも膨張しない。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

（２）衝撃規模が小規模であるときには、第 1 インフレーター 21，31 のみが作動し、エアバッグ 16 及びエアベルト 2 に少量のガスが供給され、図 1（２）の通りエアバッグ 16 及びエアベルト 2 が比較的ゆっくりと、また、内圧がさほど高くない程度に膨張する。これにより、乗員 P はエアベルトによって柔らかく拘束されると共に、エアバッグ 16 に突入したときに柔らかく受け止められる。